



ギュスターヴ・エッフェル
(1832~1923)

それまでの石の建築に変わる新しい鉄の建築を手がけた建築家。エッフェル塔にその名を残した。

自由の女神像
アメリカの独立百周年を祝って、ニューヨークに贈られた自由の女神像もその骨組みはエッフェルが考えた鉄骨組み。



展望台に住んでいたエッフェル
なんとエッフェルは自分で建てたこの塔の展望台に事務所を構えていた。1889年9月10日、エジソンが自ら発明した蓄音機を持ってエッフェルを訪ねている。

新しい時代の象徴として、はなばなしく登場したエッフェル塔も、できたばかりのころはパリの街に似合わないせ不評だった。

パリのシンボル・エッフェル塔は1889年パリ万博で誕生

もしエッフェル塔が建っていなかったら……

エッフェル塔とアイデアを競ったジュール・ブルデの太陽の塔(360メートル)。てっぺんにアーク灯を点灯し、パリ中を照らす壮大な石造の塔。費用と建設期間の長さが問題になりエッフェルに軍配があがった。



東京タワーと比べてみれば



年齢(建造年)	111歳(1889)	42歳(1958)
高さ・重さ(鉄骨の量)	320メートル 7000トン	333メートル 4000トン
入場者数(～1999年)	約1億9200万人	約1億3500万人
塗り替えに使われるペンキの量	40トン	28トン
見どころ	シネマックス(短編映画で塔の歴史を学ぶ小さな博物館)	水族館 世界のろう人形館など